



しらさぎ保育園
VOL51 NO.2
(通巻 601号)

<http://www.sirasagi-hoiku.com/>

❖ 5月のテーマと内容

	テーマ	内 容
0才児	楽しく スキンシップ	赤ちゃんマッサージや音楽に合わせての触れ合いあそびなどで楽しくスキンシップ。気持が和み、笑顔があふれる。
1才児	絵本大好き	ワクワクした顔でおはなしを聞くみんな。1年を通して絵本をたくさん見ることで言葉を覚え、集中力がついていく。
2才児	歌うの大好き	ピアノの音に合わせて大きな声で歌をうたったり、リズムに合わせて楽器を鳴らしたりしながらみんなで歌う楽しさを味わう。
3才児	ルールを守ろう!	遊びやゲームを通して簡単なルールを正しく理解し、ルールを守って友だちと仲良く遊ぶ。
4才児	元気に挨拶	自分から進んで「おはようございます」「さようなら」と挨拶。元気に挨拶をすることで、気持のいい1日を過ごす。
5才児	調理実習	自分たちが皮むき器や包丁を使って下処理をした野菜が、食事として出てくるうれしさを味わう。調理実習は集中力やしっかり話を聞く力や覚えたことを話す力が育っていく。

❖ 5月のプラン

- 1日(火) } 弁当日
- 15日(火) }
- 15日(火) ばら・ゆり組弁当遠足
- 18日(金) 誕生会
- 19日(土) 保育参観日(全クラス)
- 24日(木) 消防訓練
- ≪16日(木)カンガルー広場(園庭開放)≫



《大人が守る、子どもの安全》

お子さんの安全を守るため、“門を出たら手をつないで”といつもお願いして、おおむねみなさん手をつないでくださるようになりました。でも、車の中の安全はどうでしょう？チャイルドシートは装備しているけれど、運転しているおとうさんの膝に座っている、または運転席と助手席の間に立ち前を見物しながら乗っている姿を時々見かけ、もし急にブレーキを掛けたら…と思うとヒヤッとすることがあります。チャイルドシートにきちんと座らせて、車の中のお子さんの安全も大人が守ってやりましょう。

子供によくみられる症状 その1

“発熱”

嘱託医 宮崎医院小児科 宮崎裕美

小児の正常体温は、36.2℃から37.4℃といわれています。これ以上高いときを発熱といいます。高熱による脳への悪影響を心配される保護者がおられますが、通常の発熱では脳への悪影響はないと考えられています。

発熱により体力の消耗、痙攣(けいれん)がみられることがあります。しかし発熱は、細菌やウイルスの増殖を抑え、免疫の働きを高め防衛力が強まるという体にとってよい影響を与えます。解熱剤を使いすぎると発熱による免疫や防衛力の強化、ウイルスや細菌の増殖抑制が抑えられるため病気の治りがかえって悪くする可能性があります。しかし、解熱剤を使用すると一時的でも解熱して楽になるので活気が乏しければ解熱剤を使用してもかまいません。熱があってもいつも通り食べることができ元気であれば解熱剤は使いません。衣服はいつも通りでいいです。薄着にも厚着にもしません。額や脇の下を冷えすぎない程度に冷やすのも有効です。脱水予防、解熱効果のためにこまめに水分摂取をさせましょう。通常の風邪であれば3日以内に解熱します。また生後3か月以内の発熱は尿路感染症、髄膜炎など重症感染症の可能性が稀ですがあります。よって**3日以上続く発熱、生後3か月以内の赤ちゃんの発熱はすぐに医療機関を受診しましょう。**



クラスの年間目標

もも組(1才児)

何にでも興味津々の1才児。いろんなことにチャレンジして「できた!」の喜びを一緒に感じていきたいです。そして1年を通してたくさん絵本を読み、いっぱい手遊びを覚えていきます。また、保護者の方々とお子さんの成長や保育園の様子をたくさんお話ししていきます。

すみれ組(3才児)

あこがれの2階の保育室にドキドキ、ワクワクの毎日。お喋りが大好きなすみれっ子。毎日色々なところから楽しい話し声が聞こえてくるようなクラスにしたいです。今年は園のテーマである異年齢交流で、遊びを通しておもちゃを友だちにゆずったり小さい友だちに優しく接したりして、「やさしいこころ」を育てていきます。

ゆり組(5才児)

元気&パワー全開の25名でスタート。保育園生活最後の1年を思いっきり楽しめるように色々な遊びや取り組みをすることで就学を見すえて聞く力、話す力を育てます。みんなで力を合わせ行事を乗り越えることで一致団結。クラスがまとまり最後の行事である卒園式に立派に参列し小学校入学を迎えます。楽しみいっぱいなゆり組での1年を過ごします。

たんぽぽ組(0才児)

どの年齢より1年の成長が著しい0才児。ハイハイやひとり歩きなどたくさんの“初めて”を保護者の方と小さな成長も見逃さず、一緒に喜び、見守っていきます。また、きれいな音楽やおもしろい絵本等、色々な刺激を受けて小さいながらも豊かな感情が育つよう毎日楽しい保育をしていきます。

さくら組(2才児)

戸外でいっぱい遊び、室内では絵本を読んだり、色々な製作をしたり、たくさんの遊びを経験させていきます。遊びの中で保育者や友だちとお喋りを交わしながら賑やかなクラスにしたいです。

ばら組(4才児)

新しい遊びや活動をしていく中で、ひとりひとりの好きなことを一緒に見つけていきます。ひとつの活動時間を決め、遊ぶ時は目一杯遊ぶ、話を聞く時や並ぶ時は静かにするなど、メリハリのある生活を目指します。また、ばら組ではピアノカ、ひも結び、線のおけいここと新しい経験がたくさん。楽しみながら挑戦していきます。

(編集後記)

木々の芽が伸び、新緑がまぶしい気持ちのよい季節になりました。新しい環境に慣れず、泣いていた新入児もこの1カ月で保育園や保育者にも慣れ、笑顔が見られるようになりました。新しいクラスでスタートを切ったばかりですが、ひとりひとりの気持ちに応えながら、心と体の成長を応援していきます。そして、さわやかな風に泳いでいる鯉のぼりに負けない元気な子に育てていけるように、見守っていきたく思います。(鴨崎)